

2026.7.13

InterRisk Thailand Report <2026 No.04>

タイにおける外国人の交通安全
—安全な運転、乗車、および歩行に欠かせないポイント—

【要旨】

- タイの道路環境は複雑であり交通マナーや状況が母国と異なるため、タイを訪問する外国人にとっては困難が生じる場合があります。
- 交通事故は依然として重大なリスクとなっており、特に自動車およびバイクの運転中、ならびに歩行者にとって大きなリスクです。
- 左側通行や適切な免許証などの基本的な交通ルールを理解して交通状況へ注意を払い、現地の運転習慣に適應することが必要不可欠です。
- バイク運転中はより高いリスクに遭遇するため、安全装備の装着、有効な書類の所持、および運転ルート計画などの適切な準備が、安全な移動には必要です。

はじめに

活気に満ちた人気の旅行先であるタイは、賑やかな都市から美しい自然景観まで、多様な魅力を提供しています。しかし、現地の交通事情や運転文化に慣れていない外国人にとって、タイの道路を利用することは容易ではありません。例えば、深刻な渋滞、予測できない車線変更、そして多くのバイクと車両が混在する交通環境などが挙げられます。タイ道路安全センター（the Thailand Road Safety Center, ThaiRSC）のデータによると、交通事故は依然として大きな懸念事項であり、2025年には負傷者 32,352 人および死亡者 579 人が報告されています。また、全事故の約 89.5%はオートバイが関係しています。これらのリスクは、旅行のピーク時、ならびにバンコクおよびプーケットといった主要都市において特に顕著です。これらの課題を踏まえ、外国人来訪者がより安全かつ安心してタイの道路を利用するためには、運転や乗車、歩行の際の基本的な安全対策を理解することが重要です。本記事では、そのためのタイの主要な交通ルールや慣習とチェックリストを紹介します。

タイの道路を利用する外国人来訪者のための重要ポイント

外国人来訪者がタイの道路を利用するにあたっての、安全確保および現地規制の遵守のために最初に行うべき重要なステップを下記に示します。タイ滞在中の交通リスクを軽減し、旅行を安全に楽しむためには、事前の準備が重要です。外国人来訪者は適切な書類を持っていることを確認し、基本的な交通ルールを理解する必要があります。また、道路を利用する前に計画を立てることが重要です。

- 有効な国際運転免許証 (International Driving Permit, IDP) またはタイ運転免許証の携帯
- 適切な保険への加入
- 適切な安全装置の常時着用(ヘルメットやシートベルト)
- 運転前の車両点検
- 事前のルート計画
- 運転前および運転中にアルコールを摂取しないこと

タイで外国人が巻き込まれた交通事故の事例

タイの道路事情は複雑かつ流動的です。自動車、バイク、公共交通機関、歩行者の全てが同じ空間を共有しており、それぞれの動きはしばしば予測不可能です。バンコクのような大都市では、突然の車線変更、車の間を縫って走行するバイク、急停止などは日常茶飯事です。地元の人にとっては普通のことかもしれませんが、タイの独特の交通環境に慣れていない観光客にとっては、非常に難しいと思われます。

1. 自動車運転手によるバイク運転手へのあおり運転

この事件はバンコクのスクンビット道路で発生しました。バイクの運転手と外国人が運転する自動車が軽微な衝突を起こしました。衝突の後、両者は口論になり、運転手が複数の車線を越えてバイク運転手を追いかけて衝突しました。バイク運転手はバイクから投げ出され、柱に衝突しました。その負傷が原因でバイク運転手が死亡しました。この事件は、悪質なあおり運転や感情的な反応によって、些細な事故がいかにして死亡事故へとエスカレートし得るかを浮き彫りにしています。このような状況を防ぐため、道路利用者は常に冷静さを保ち、衝突を避け、適切な法的ルートを通じてトラブルや紛争を解決する必要があります。この事故は、タイの交通環境を如実に反映しています。タイでは、デリバリーを含みバイクが広く利用されており、路上でトラブルや紛争が発生する可能性が増加しています。

2. アラブ首長国連邦(UAE)の観光客によるパンガー県で複数バイクの衝突事故

この事故は、パンガー県の Phet Kasem 道路で発生しました。UAE からの 4 人の観光客のグループが、車列を組んでバイクに乗っていたところ、彼らのバイクの間で深刻な衝突が発生し、1 人が死亡、3 人が負傷する事故となりました。この事故は、特に高速道路で安全な距離を維持せずに集団走行することの危険性を浮き彫りにしています。このような事故を防ぐために、ライダーは常に安全な車間距離を保ち、集団走行を避け、周囲の交通状況に十分に注意を払う必要があります。

3. パタヤの夜間事故で外国人観光客が死亡した事故

チョンブリー県パタヤのマブプラチャン貯水池近くで、夜間に外国人男性がバイクを運転していたところバランスを崩し、駐車していたトレーラーに衝突しました。その後、バイク運転手は死亡しました。この事故は、視界が悪く障害物を発見することが困難な夜間の走行の危険性を強調しています。これらのリスクを最小限に抑えるために、ライダーはスピードを落とし、適切な照明を使用する必要があります。また、視界が悪い状況で移動する際には細心の注意を払う必要があります。

4. 道路横断中に衝突されたアイルランド人観光客の事故

パンガー県で、54 歳のアイルランド人男性が夜間に道路を横断中に SUV にはねられ、その負傷が原因で死亡しました。この事故は、視界が悪い状況や、自動車が歩行者に道を譲らない場合における、歩行者の脆弱性を浮き彫りにしています。安全性を向上させるために、歩行者は可能な限り指定された横断歩道を利用し、左右両方向から慎重に交通状況を確認した上で、横断前に車両が完全に停止していることを確認する必要があります。

これらの事故は、特に現地の交通状況や運転行動に慣れていない可能性のある外国人観光客にとって、タイの道路における現実的かつ継続的なリスクを反映しています。このような不慣れた状況は、事故の可能性を著しく高める可能性があります。これらのリスクを軽減するために、観光客は現地の交通ルールを理解し、異なる道路環境に注意を払い、タイで運転、乗車、歩行する際に安全な習慣を身につけることが不可欠です。

外国人がタイで知っておくべき基本的な交通ルール

1. 運転システム	- 左側通行：タイは左側通行のため、右側通行に慣れている観光客にとっては特に難しい状況になっていると考えられます。ドライバーはハンドルの位置、方向転換、ミラーの使用の違いに適応する必要があります。特に、複数の方向から交通が流れる交差点や環状交差点（ラウンドアバウト）では、より注意が必要になります。 - 信号機(赤＝停止、緑＝注意しながら進行可能)：タイにおいても交通信号は国際基準へ準拠していますが、実際の状況では赤信号を無視したり、黄色信号を無視して加速したりするなどの違反が発生する可能性があります。そのためドライバーはより注意を払う必要があります。タイの交通の特徴は、バイクが頻繁に車線間を縫うように走ることであり (lane splitting、すり抜け運転)、コミュニケーションの一形態としてクラクションを使用することもよく見られます。 - 柔軟な運転行動：タイでは、赤信号での左折可否は交通標識によります。「常時左折可」または「安全な場合は左折可」などの標識がある場合、ドライバーは減速して歩行者に道を譲り、右側からの対向車に道を譲ってから左折することができます。標識が「青信号時のみ左折可」を示している場合、ドライバーは停止して信号を待たなければなりません。標識がない場合、ドライバーはすぐに左折するのではなく、青信号を待ち、安全を確認してから左折しなければなりません。 前車の急停止、および路上駐車などに遭遇する可能性も鑑み、ドライバーには慎重な確認と予測が求められます。さらに、横断歩道では車両が必ずしも道を譲るとは限らないため、歩行者は注意を払う必要があります。 - 安全装備の義務：シートベルト（ドライバーおよび同乗者） およびヘルメット（ライダーおよび同乗者）の着用は法律で義務付けられています。
2. 運転免許証	- 必要書類：タイで運転を希望する外国人は、国際運転免許証 (International Driving Permit, IDP) と自国の有効な免許証を携帯するか、法的に発行されたタイの運転免許証を所持している必要があります。運転年齢の下限は、一般的に自動車は 18 歳、バイクは 15 歳です。IDP なしで運転すると、事故の際に保険が無効になる可能性があります。 - レンタカーの要件：ほとんどのレンタカー会社は、法的な運転資格を確認するために IDP を必要とします。IDP がない場合、法律に違反するだけでなく、事故が発生した際に保険が適用されない可能性があります。 - 書類の確認：タイ陸運局 (the Department of Land Transport) によると、警察はいつでも運転免許証の提示を求めることが可能です。法的事項を遵守し、旅行中の安心を確保するためには、有効な書類を所持することが不可欠です。

3. その他の重要な法律	- 携帯電話の使用：運転中に携帯電話を使用するにはハンズフリー機器を使用しなければなりません。注意散漫になると事故のリスクが増加するためです。 - 制限速度：制限速度は地域によって異なります。一般的に、都市部では 50 km/h から 80 km/h の範囲ですが、高速道路では 90 km/h から 120 km/h の速度が許可されている場合があります。掲示された制限速度標識へ常に注意を払い、掲示された制限速度に従ってください。 - 飲酒運転に関する法律：タイでは、20 歳以上の運転手の血中アルコール濃度 (BAC) 制限を 0.05%、20 歳未満の運転手には 0.02% と定められています。これは外国人観光客を含むすべての運転手に適用されます。制限を超えると、罰金や懲役が科される可能性があります。アルコールは身体反応を遅らせるため、交通事故の発生リスクを高めます。 - 交通標識：タイの交通標識にはタイ語と英語の両方が含まれているものもありますが、多くは記号またはタイ語のみを使用しており、他の国のものとは異なる場合があります。道路状況を把握し、安全に運転するためにも、事前に確認することをお勧めします。交通標識は、一般的に、規制標識、義務標識（必須標識）、警戒標識の 3 つの主要なタイプに分類されています。 1. 規制標識 (Regulatory signs): 従わなければならない交通法や規制を示しています。標識は赤い枠線の付いた円形、または文字のはっきりした長方形で、多くの場合は禁止事項を示す記号が使用されています。 左折禁止 (規制標識) 2. 義務標識・必須標識 (Mandatory signs): 安全な交通の流れを確保するために特定の行動をとよう運転手への指示になっています。標識は青い背景の円形で、白い記号が描かれており、必要な方向を示されます。 左折 (必須標識) 3. 警戒標識 (Warning signs): 潜在的な危険や道路状況の変化について運転手への警告になっています。標識はダイヤモンド型で、黄色の背景と黒い記号があり、迅速に注意を引くように設計されています。 左への急カーブ (警戒標識)
---------------------	---

タイにおける交通安全のためのチェックリスト

バイクはその利便性と交通量の多い交通に対応できる能力により、タイで最も人気のある交通手段の1つです。しかし、道路状況や交通マナー、また乗員を守る保護が限られていることから、より高いリスクも伴います。特に不慣れな場所や危険性の高い地域では、より一層の注意が必要です。タイで自動車を運転する際には、交通法規の理解だけではなく現地特有の運転行動に適応する能力も必要です。またタイでは、歩行者は道路利用者の中でも特に脆弱な立場にあり、交通インフラが十分に整備されていない地域や交通量の多い地域では、そのリスクが一層高まります。

これらの状況をふまえた「タイにおける交通安全のためのチェックリスト」を下記に示します。

観点	チェック項目	
バイク	☐	ヘルメットの常時着用
	☐	不慣れな地域では高速運転を避ける
	☐	急な車線変更をする自動車へ注意する
	☐	でこぼこした路面や、道路の穴、砂、砂利に注意する
	☐	カーブやUターンの際に減速する
	☐	短距離であっても逆走は避ける
	☐	有効な運転免許証を必ず携帯する
	☐	特に夜間の走行時は、自車の視認性を確保する
自動車	☐	車両は道路の左側を走行する
	☐	制限速度や道路標識を守る
	☐	右左折や車線変更の前には必ずウインカーを使用する
	☐	十分な車間距離を保つ
	☐	車線の間を走行するバイクに注意する
	☐	他車の急な停止や車線変更に備える
	☐	交差点や信号では常に注意を払う
	☐	クラクションは威嚇ではなく、注意喚起として使用する
歩行者	☐	利用可能な場合は横断歩道や歩道橋を使用する
	☐	横断する前に、左右の交通状況を十分に確認する
	☐	道路に出る前に、車両が完全に停止していることを確認する
	☐	標識のない場所や危険な場所での横断は避ける
	☐	でこぼこした歩道や障害物のある場所に注意する
	☐	夜間の歩行には特に注意を払う
	☐	車道に近づきすぎないようにする

まとめ

外国人としてタイの道路を利用するには、交通法規の理解、およびタイ独自の環境に適応する能力が必要になります。事故の主な原因は、複雑な交通状況、バイクの多さ、および交通ルールを守らない運転行動などがあり、これらが交通事故のリスクを高めます。この傾向は、高水準が続く交通事故統計、ならびに運転中、団体移動中、および徒歩移動中に被害を受けた観光客の実例からも明らかです。

道路の左側通行、有効な運転免許証の保持、および安全規制の遵守など、基本的な交通ルールを知ることが重要になります。自動車やバイクでの移動、または徒歩など、それぞれの移動手段には注意点があるため、それぞれのリスクを認識しておくことも大切です。

最終的には、正しい書類を携行し、安全装備を身につけ、事前にルートを計画するなど、適切な事前準備がリスク軽減のために重要な役割を果たします。正しい知識と意識を持つことで、外国人観光客はタイの道路をより安全に、そして自信を持って移動することができます。

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd.

Assistant Manager, **Akimasa Tsutsumi**

Training Program Development & Consulting, Head of Department, **Chalisa Masuk**

参考

<https://www.who.int/docs/default-source/thailand/roadsafety/thailand-status-against-12-global-road-safety-performance-targets.pdf>

<https://takemethailand.com/travel-tips/arrival-insights/driving>

<https://www.thailandroutes.com/driving-in-thailand-2025-complete-guide-for-foreigners-tips-traffic-rules-and-drivers-license-requirements/>

https://www.khaosod.co.th/breaking-news/news_9599534

<https://www.khaosodenglish.com/news/2025/12/13/uae-tourist-killed-as-four-motorcycles-crash-in-phang-nga/>

<https://www.pattayamail.com/news/foreign-motorcyclist-killed-in-late-night-crash-off-pattaya-near-mabprachan-reservoir-529798>

<https://www.thesun.ie/news/14899610/irish-tourist-killed-struck-car-thailand-crossing-street/>

<https://safeeducationthai.com/turn-left-sign/>

<https://www.thairsc.com/>

MS&AD インターリスク総研株式会社は、MS&AD インシュアランスグループのリスク関連サービス事業会社として、リスクマネジメントに関するコンサルティングおよび広範な分野での調査研究を行っています。

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd. (インターリスクアジア・タイランド) は、タイ・バンコクに拠点を構えるリスクマネジメント事業会社であり、タイのみならず東南アジア各国の工場・倉庫・商業施設等における火災リスク評価や自然災害リスク評価、ならびに交通リスク、BCP 策定支援、サイバーリスク等に関する各種リスクコンサルティングサービスを提供しております。

弊社サービス、ならびにタイ・東南アジア進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等は、下記のお問い合わせ先、または、お近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

MS & AD インターリスク総研 (株)
リスクマネジメント企画部 国際業務グループ
TEL.03-5296-8920
<https://www.irric.co.jp>

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd.
175 Sathorn City Tower, South Sathorn Road, Thungmahamek, Sathorn, Bangkok, 10120, Thailand
TEL: +66-(0)-2679-5276
FAX: +66-(0)-2679-5278
<https://www.interriskthai.co.th/>
info@interriskthai.co.th

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
また、本誌は、読者の方々に対して企業のリスクマネジメント活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

InterRisk Asia Thailand の交通安全研修サービスのご案内

- InterRisk Asia Thailand の交通安全研修サービスは、実証済みの実践的戦略と最新の交通安全に関する知見の統合により、交通安全を維持するために必要な知識とスキルを受講者が確実に習得できるように設計されています。提供されるプログラムは明確で理解しやすいものであり、重要な学習ポイントを強化する魅力的なアクティビティ、高度なツール、現実的シミュレーションなどが特徴です。
- トレーニングの最後には、受講者の長期的な向上を支援するための包括的学習資料と個別評価が提供されます。

各メニュー	Basic コース ：すべての自動車利用者を対象に、交通安全の基礎知識を提供します。より安全な運転を確保するための必須事項が網羅されています。
	Awareness コース ：交通事故の発生原因や結果を理解し、個人および集団の交通安全意識の重要性を把握することに重点を置いているコースです。
	Manner コース ：専門職ドライバーの運転マナーを養うことを目的としたコースです。主な内容は、どのようなクライアントに対しても好印象を与えるためのマナーの習得方法と、運転中の感情のコントロール方法です。
	二輪自動車安全コース ：道路利用者として最も脆弱なグループの一つであるバイク利用者向けに、基本的な運転技術および交通リスク低減テクニックを網羅しています。
	トラック安全コース ：トラックドライバーの交通安全技術に焦点を当て、大型車を安全かつ効果的に扱う能力の向上を目的としたコースです。
	安全運転管理コース ：組織の管理者向けにマネジメントガイドラインを提供します。従業員の安全運転を強化することによって交通事故低減を図り、組織全体の社会的評価や信頼性（レピュテーション）の向上を目指します。
研修オプション	タイ来訪・在住外国人向け交通安全研修コース ：訪タイ外国人がタイの交通ルールを確実に理解し、タイにおける運転習慣を把握できるよう支援します。受講者の車両運転スタイルがタイの現実に即したものとなり、それにより交通に関する法的リスクや事故リスクの低減が図られます。
	オンサイト ：実践的アクティビティや現実的シミュレーションへの参加により、受講者の基本的運転スキルおよび状況認識スキルが向上します。また、交通状況の変化に対する反応時間や運転者としての意思決定スキルが、高度なツールを用いてテストされます。これらの取り組みを通じて、受講者が実際の道路状況に備えられるよう支援します。 オンライン ：リモート学習を希望するお客様向けに、任意の電子デバイスからアクセスできるインタラクティブなオンラインプログラムを提供しています。当社のプラットフォームには、短いトレーニングビデオ、アクティビティ、リアルタイムの評価結果が含まれており、受講者はどこからでも教材にアクセスできます。

登録車両数の増加により、交通事故、負傷、および死亡者数が各国で大幅に増加しています。この課題に対応するために、弊社ではお客様のニーズに合わせた専門的な交通安全研修を提供しています。



【交通安全研修の様子】

MS&AD インターリスク総研は 2024 年 4 月、これまでのホームページを刷新し、リスクに強い組織づくりをサポートするプラットフォーム「RM NAVI(リスクマネジメント ナビ)」をリリースしました。

「RM NAVI」は、MS&AD インターリスク総研の知見をフル活用して、情報提供から実践までをトータルサポート。コンサルタントの豊富な経験と、最先端のデジタルサービスで、リスクに強い組織づくりを支えます。あなたに寄り添い、最適な答えへと導く、リスクマネジメントの羅針盤です。

リスク対策がわかる。 組織がかわる。

リスクに強い組織づくりをサポートするプラットフォーム



RM NAVI

リスクマネジメント ナビ

こんなお悩みはありませんか？

リスクが多様化・複雑化し、
最新ノウハウを
得ることが困難に…

リスク対策を
効率化したいが、
リソースが足りない…

情報セキュリティや
BCPなどのリスク対策が
進んでいない…

RM NAVIが最適なリスクマネジメントへと導きます



MS&ADインターリスク総研の知見をフル活用
して、リスクマネジメントをサポート！



現場経験豊富なコンサルタントが、
最新の情報を提供！



最先端のデジタルサービスを駆使して、
対策の実行までを支援！

「RM NAVI」はこちら（会員登録もこちらから可能です）>

<https://rm-navi.com>

